モバイルコンピュータ

WinBook **Trim**

P2P133

ソフトウェアご使用の手引

SOTEC

WinBook Trim
ソフトウェアご使用の手引

はじめに

このたびは、WinBook Trimをお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

本書は、本機にプリインストールされているソフトウェアの基本的な使い方を説明しております。
ご使用になる前に、本書の内容を十分にご確認ください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

また、本機を使用するにあたっての注意事項、ユーティリティの使用方法、本書に記載されていない最新の情報をディスクトップ画面に表示される"始めにお読みください"で提供しております。
内容を必ずご確認ください。

その他の情報について

ハードウェアに関する情報　　：活用ガイド
　本機をお使いの際は、はじめに必ず『活用ガイド』をお読みください。
Windows95に関する情報　　：Windows95ファーストステップガイド
アプリケーションに関する情報：ご使用になるアプリケーションの説明書やヘルプ

本書の内容は、予告なく変更することがあります。

株式会社ソーテック

目　次

1 はじめにお読みください

1-1　搭載されているソフトウェア

名　称	概　要	参照先
Microsoft Windows 95	本機を動かす基本ソフトウェアです。初心者でも簡単に効率よくパソコンを使えるようにできています。	「2. Windowsの起動と終了」やWindows95ファーストステップガイド
PHDISK	サスペンド領域の設定を行うユーティリティです。	「3. ユーティリティの使用方法」や"始めにお読みください"(※2)
ドライバ類	サウンド機能、1.2MB フロッピーディスク(※1)などを使用するためのドライバです。一部のドライバは、使用する前に準備作業が必要です。	

※1　出荷時にはインストールされておりますので、特に設定する必要はありません。

※2　始めにお読みください：本書に記載されていない最新の情報を提供しています。
本機をご使用になる前に必ずお読みください。
ディスクトップ画面に表示される"始めにお読みください"からご覧になれます。

1-2　はじめて電源を入れる

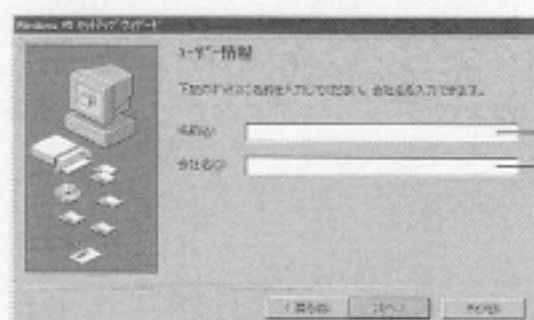
はじめて電源を入れるときは、ユーザー情報の入力や使用許諾契約書の同意など、簡単な準備作業が必要です。2回目以降はこれらの作業は不要です。
ここでは、はじめて電源を入れるときの操作を説明します。

本書に掲載されている画面は表示例です。OSバージョンやドライバの種類などによりボタンの表示位置や設定可能な項目の内容が異なることがあります。その場合はヘルプを参照してください。

1 以下のものを用意します。
Windows95の説明書に添付されている「Certificate of Authenticity」という書類

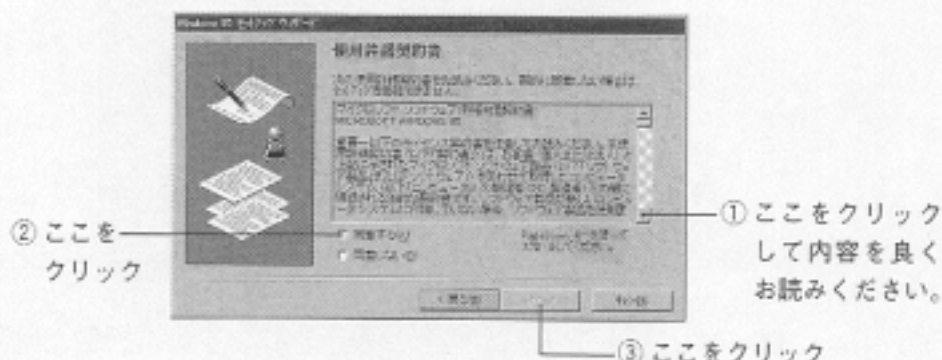
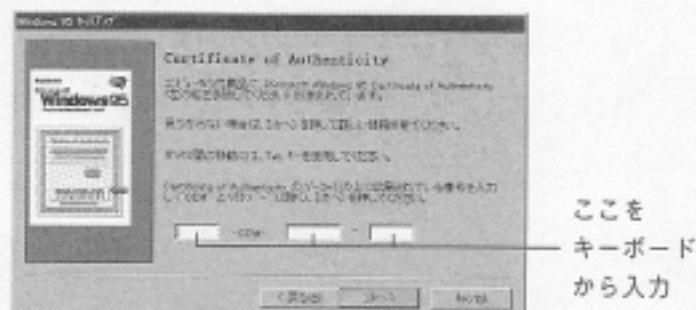
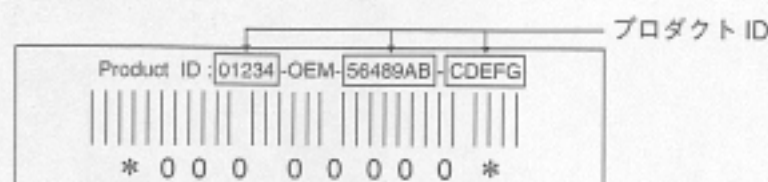
初期設定には、約30分から1時間かかります。
初期設定作業中に、電源を絶対に切らないでください。次に電源を入れたとき、すべてのアプリケーションが使用できなくなることがあります。

2 本体装置の電源を入れます。
『活用ガイド』の「基本的な操作のしかた」にある「電源を入れる」を良くお読みください。

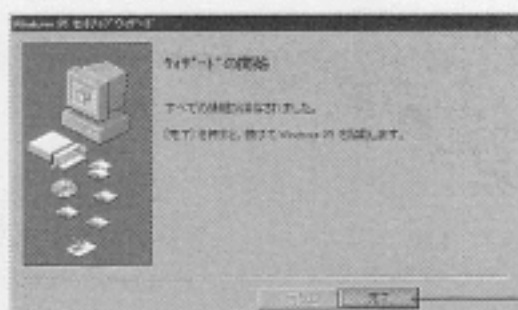
3 ユーザー情報を入力する画面が表示されます。以下の項目を、それぞれポインティングデバイスの左ボタンでクリックした後、キーボードを使って入力してください。

項　目	意　味
名前	本機を使用する方の名前を入力してください。漢字でも、カタカナ、ひらがな、アルファベットでも構いませんが、空欄ではいけません。
会社名	必要に応じて会社名を入力してください。 空欄でも構いません。

●以降の操作でポインティングデバイス（スティックポインタやマウス）のクリック操作は、特に断わりがないかぎり、すべてポインティングデバイスの左ボタンで行います。ポインティングデバイスの操作方法がわからない方は、『活用ガイド』を参照してください。

4 ユーザー情報の入力が終わったら［次へ］ボタンをクリックします。

5 使用許諾契約書が表示されます。内容を良くお読みいただき、同意いただける場合は［同意する］ボタンをクリックし、続いて［次へ］ボタンをクリックします。
なお、使用許諾契約書の隠れている部分は、矢印ボタンをクリックする（または［Page Down］キーを押す）と表示できます。

6 プロダクトIDを入力する画面が表示されます。
「Certificate of Authenticity」の**バーコードの上**に書いてあるプロダクトIDを、キーボードを使って入力します。ただし、途中の"ー"（ハイフン）と"OEM"は入力不要です。

「Certificate of Authenticity」はWindowsの再インストール時にも必要なので、大切に保管してください。

7 プロダクトIDの入力が終わったら［次へ］ボタンをクリックします。

8 完了のメッセージが表示されます。［完了］ボタンをクリックしてください。Windows95が起動されます。

9 タイムゾーンの設定画面が表示されます。［日付と時刻］タブをクリックしてください。

10 必要に応じて日時を修正し、［更新］ボタンをクリックした後、［OK］ボタンをクリックします。修正しない場合は［閉じる］ボタンをクリックしてください。

11 プリンタ情報を入力する画面が表示されます。プリンタを接続している場合は、[次へ] ボタンをクリックし、画面の指示にしたがってプリンタの設定を行います。
プリンタを接続していなければ [キャンセル] ボタンをクリックしてください。(プリンタはここでキャンセルしても後から組み込めます。)

12 「Windows95へようこそ」というメッセージが表示されます。

続けて、「1-3 システムディスクの作成」で、バックアップ用のシステムディスクを作成してください。

終了する場合、「2-2 Windowsを終了し、電源を切る」を参考にしてください。

1-3　システムディスクの作成

再インストールをする際に必要となるシステムディスクを作成します。

本製品には、Windows®95 再インストール用CDが添付されておりますが、本機特有のドライバやユーティリティ類はこのCDには含まれておりません。
再インストールするためには以下の手順に従って、再インストール用のシステムディスクを作成してください。

システムディスクは、後からでも作成できますが、万一のトラブルに備えて早めに作成されることをお勧めいたします。
作成したディスクは、すべて書き込み禁止にして、大切に保管してください。

※ プリインストールされているソフトウェアの種類や、インストールディスクの枚数は予告なく変更されることがあります。
Create System Disksを起動すると、作成するシステムディスクの名称や枚数が表示されますので確認してください。

システムディスク作成についての最新情報については、ディスクトップ画面に表示される“始めにお読みください”にも記載がありますので必ずお読みください。

■システムディスクの作成を行うための準備

以下のものを用意します

- ●フロッピーディスク装置
- ●1.44MBでフォーマット済みの空きフロッピーディスク
  （必要な枚数は後で画面に表示されます）
- ●再インストールに使用するCD装置のデバイスドライバファイル
  （CD装置の製品に同梱されているフロッピーディスクに含まれています）

システムディスクの作成を行う前に必ず以下の操作を行ってください。

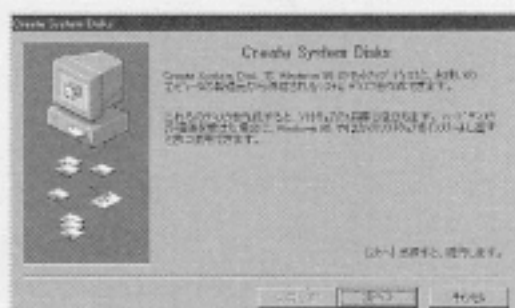
本体装置にフロッピーディスク装置が装着されていない場合、フロッピーディスク装置を装着し、電源を投入しなおしフロッピーディスク装置が使用できる状態にしておきます。

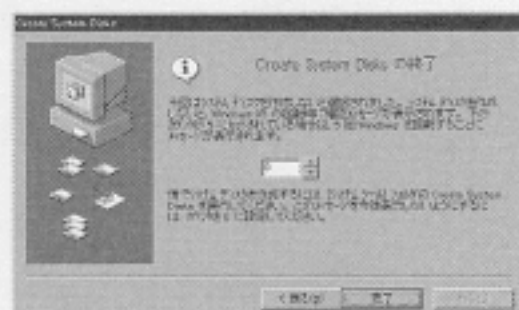
Windows 95の再インストールを行うときに使用するCDセットアップ起動ディスクを作成するために、CD-ROM装置のドライバを、CD-ROM装置に添付されているフロッピーディスクから本体のハードディスクにコピーします。

詳細はディスクトップ画面に表示される"始めにお読みください"をお読みください。

この操作は必ず行ってください。行わない場合、「CDセットアップ起動ディスク」のシステムディスクを作成する際エラーが発生します。

■システムディスク作成の手順

1 スタートメニューからプログラム→アクセサリ→システムツール→Create System Disksを選択します。
以下のようなプログラムが起動します。

このプログラムを使ってバックアップディスクを作成します。「次へ」ボタンを押してください。以後、画面中央のリストボックス内のディスクセットを順に選択していき、画面の指示に従ってバックアップを作成してください。

2 すべてのディスクのバックアップが完了したら、下図のように画面中央のカウンタを「ゼロ」にして、バックアッププログラムを終了します。

■ユーザーデータの保存

再インストールを行うと、ユーザーデータが削除される場合がありますので、消えてはならないデータを必ず保存してください。
再インストールについては「5 再インストール」を参照してください。

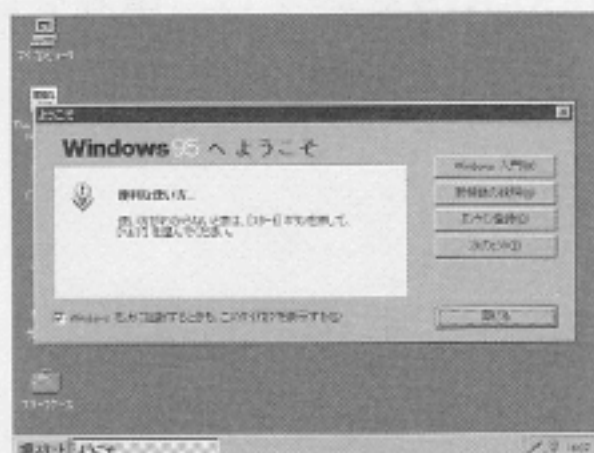
2 Windowsの起動と終了

2-1　Windowsを起動する

本機ご購入後、はじめて電源を入れる（Windowsを起動する）場合は「1-2 はじめて電源を入れる」を参照してください。
以下で説明するのは、2回目以降に電源を入れるときの操作です。

1 プリンタなど電源スイッチのある周辺機器を接続している場合、それぞれの電源を入れます。

2 本体装置の電源を入れます。

3 いくつかのメッセージが表示され、しばらくすると以下の画面が表示されます。これでWindowsの起動は完了です。

上記画面を含め、本書に掲載されている画面は表示例です。OSのバージョンやドライバの種類などによりボタンの表示位置や設定可能な項目の内容が異なることがあります。その場合はヘルプを参照してください。

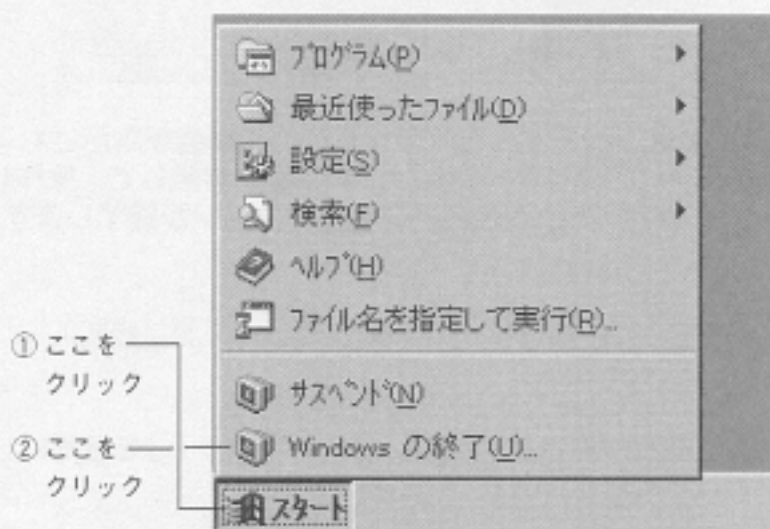
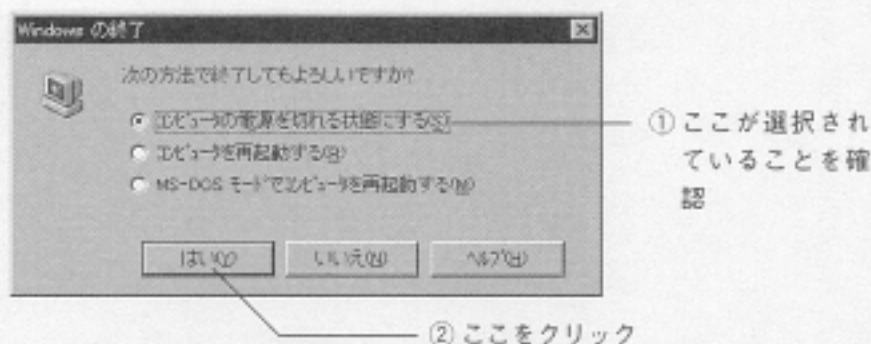
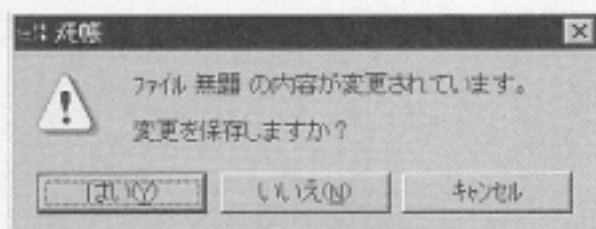
● Windowsの基本操作については、『Microsoft Windows95 ファーストステップガイド』を参照してください。

● プリインストールされているユーティリティの操作方法については、本書の「3 ユーティリティの使用方法」や、ディスクトップ画面に表示される"始めにお読みください"を参照してください。

2-2 Windowsを終了し、電源を切る

Windowsを終了して本体の電源を切るときは、必ず、以下の手順にしたがってください。

以下の手順にしたがわず、特にWindowsを終了させずにOFF/ONボタンを押して電源を切ると、データが壊れたり本体が故障したりする原因になりますので絶対に行わないでください。

1 ［スタート］－［Windowsの終了］をクリックします。

2 以下のような確認メッセージが表示されますので、［コンピュータの電源を切れる状態にする］に黒丸が付いていることを確認し［はい］ボタンをクリックします。

3 ハードディスクなどに保存していないデータがあると、以下のようなメッセージが表示されます。保存したいときは［はい］ボタンをクリックします。保存しなくてよければ［いいえ］ボタンをクリックします。

［はい］を選ぶとデータを保存するための画面が表示されることがあります。アプリケーションの説明書を参照して、操作してください。保存が終わると、アプリケーションが終了します。

4 これでWindowsは終了し、本体装置の電源が自動的に切れます。

自動的に電源が切れない場合、「2-3 リセット」を参考にしてリセットしてください。

2-3 リセット

ソフトウェアを使用中に、キーボード入力やポインティングデバイスの操作ができなくなるなどの異常が起こった場合、二つの原因が考えられます。

　① プログラム処理に時間がかかっている
　② ソフトウェアの暴走やネットワークの障害など

なんらかの異常が起こったら、原因が①か②かを確かめるために、数分待ってみることをお勧めします。特に、フロッピーディスクの使用中ランプが点灯／点滅しているときは、ランプが消えるまで待ってください。

しばらく待っても回復しない場合、②が原因であることが考えられます。以下で説明する手順でリセットしてください。

リセットは非常時にやむを得ず行う操作です。リセットによって、作業中の内容が消えるだけでなく、保存してあったデータが壊れる恐れもあります。やむを得ない場合以外は、リセットは行わないでください。

1 [Ctrl]キーを押しながら[Alt]キーを押し、さらに[Del]キーを押します。

2 「アプリケーションの応答がない」という意味のメッセージが表示されれば、暴走の原因となったソフトウェアだけを終了できます。[Enter]キーを押してください。
メッセージが表示されない場合は、手順3に進みます。

暴走の原因となったソフトウェアだけを終了できた場合でも、Windowsの動作が不安定になっている可能性があります。保存していないデータをすぐにハードディスクなどに保存し、いったんWindowsを終了してください。

3 上記の手順でもうまくいかない場合、OFF/ONボタンを押すことにより本体装置の電源が切れます。
→OFF/ONボタンの位置は『活用ガイド』を参照してください。

3 ユーティリティの使用方法

本章では、本機にプリインストールされている以下のユーティリティの機能と操作方法を紹介します。

■ サスペンド領域の削除、再設定を行う　→3-1参照

本機のハードディスクには、サスペンドモード時にデータを退避するための領域が確保されています。
サスペンドモードを使用しない場合、この領域を削除して、その分ハードディスクの空き容量を増やすことができます。

■ ディスプレイを調整する　→3-2参照

ディスプレイの解像度、色数を変更する方法を説明します。

■ サウンド機能を使う　→3-3参照

本機から出る音声の音量を変更する方法や、録音時の音質・レベルを変更する方法等を説明します。

■ PCカードを使う　→3-4参照

PCカードの使用方法、取り外す方法について説明します。

3-1　サスペンド領域設定ユーティリティを使う

サスペンドモードのために確保されているサスペンド領域を削除して、ハードディスクの空き容量を増やす方法を説明します。サスペンド領域の削除や再設定には、PHDISKというユーティリティを使用します。なお、サスペンド領域を削除すると、ディスクサスペンドモードは使用できなくなります。ユーティリティの使用方法とサスペンドモードの詳細についてはディスクトップ画面に表示される"始めにお読みください"を参照してください。

3-2 ディスプレイを調整する

解像度、色数の変更は次のように行います。

1 [スタート]－[設定]－[コントロール] をクリックします。

2 [画面] アイコンをダブルクリックします。

3 以下の画面で [ディスプレイの詳細] タブをクリックします。

上記画面を含め、本書に記載されている画面は表示例です。OSのバージョンやドライバの種類などによりボタンの表示位置や設定可能な項目の内容が異なることがあります。その場合はヘルプを参照してください。

4 [カラーパレット]・[デスクトップ領域]・[フォントサイズ] の各欄を希望する値に変更します。

ディスクトップ画面に表示される"始めにお読みください"も参照してください。

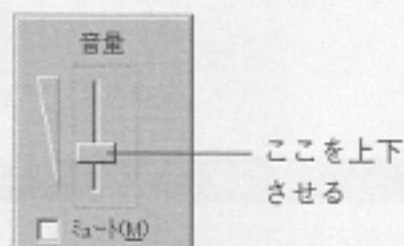
3-3　サウンド機能の設定変更

ここでは、本機から出る音声の設定を変更する方法について説明します。

・音声の全体の音量を変える
・音声の種類ごと（WAVE、MIDI、CDなど）に音量、左右バランスなどを変える
・録音レベル、録音時の音質を変える

3-3-1　音声の全体の音量を変える

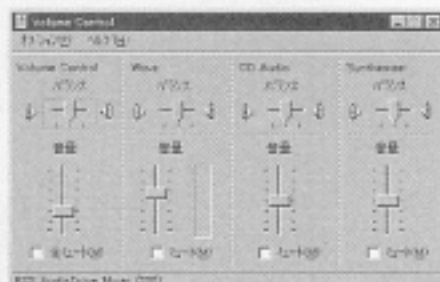
1 タスクバーの右端にある［スピーカー］アイコンをクリックします。

2 ［音量］スライドバーが表示されます。バーをドラックして下にさげると音が小さくなります。上にあげると音が大きくなります。

バーの下にある［ミュート］をクリックしてチェックマークを付けると、バーの位置に関係なく音を消せます。チェックマークを外すと元の音量に戻ります。

3-3-2　音声の種類ごとに音量、左右バランスを変える

1 タスクバーの右端にある［スピーカー］アイコンをポインティングデバイスの**右ボタン**でクリックします。
ポップアップメニューが表示されます。

2［音量コントロールを開く］をクリックします。

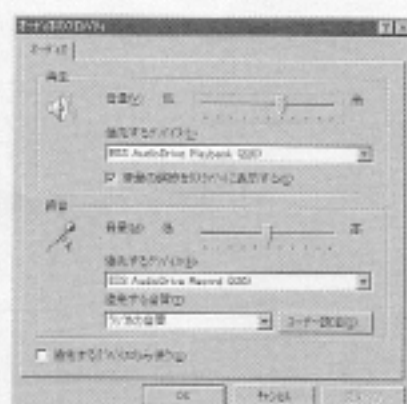
3 以下の画面が表示されます。それぞれのバーをドラッグして、音量と左右バランスを調整してください。

項目名	意　味
Volume Controlバランス	WAVE、MIDI、CD、ライン入力全体の音量、左右バランスを調整します。ここでの音量は、「3-3-1」で説明した音量と一致します。
WAVEバランス	WAVE音声（.WAV形式のファイルなど）の音量、左右バランスを調整します。
Synthesizer バランス	MIDI音声（.MID形式のファイルなど）の音量、左右バランスを調整します。
CD Audio バランス	音楽CDの音量、左右バランスを調整します。

・バーの下にある［ミュート］をクリックしてチェックマークを付けると、バーの位置に関係なく音を消せます。チェックマークを外すと元の音量に戻ります。

3-3-3　録音レベル、録音時の音質を変える

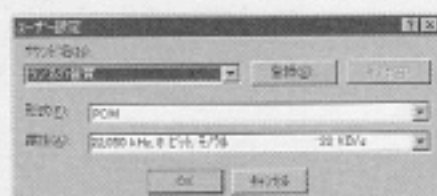
1 タスクバーの右端にある［スピーカー］アイコンをポインティングデバイスの**右ボタン**でクリックします。

2［オーディオプロパティの調節］をクリックします。

3 以下の画面が表示されます。表を参考にして、各項目を設定してください。

項目名		意　味
再生	音量	全体の音量を調整します。
	優先するデバイス	通常、本項目は変更しないでください。
	音量の調節をタスクバーに表示する	チェックマークを外すと、スピーカーアイコンがタスクバーに表示されなくなります。
録音	音量	録音レベルを調整します。録音した音声が小さいときは［高］に近付けます。録音した音が割れるときは［低］に近付けます。
	優先するデバイス	通常、本項目は変更しないでください。
	優先する音質	録音時の音質を調整します。[CDの音質]がもっとも音質が良く、次が[ラジオの音質]です。ただし、音質が良いほどファイルのサイズが大きくなります。

この画面の［再生］の［音量］と「3-3-1」の音量設定は次のような関係になっています。
・両方の音量を最大にしたときが本機の最大音量です。
・一方の音量をゼロにすると、他方の設定に関わらず音が消えます。

4 ［優先する音質］の詳細設定をしたいときは、［ユーザー設定］ボタンをクリックして次の手順に進んでください。
詳細設定をしないときは、［OK］ボタンをクリックして作業は完了です。

5 ［ユーザー設定］ボタンをクリックすると以下の画面が表示されますので、［形式］と［属性］を選びます。

属性は、kHzで示されるのがサンプリング周波数、ビットで示されるのが量子化ビット数で、ともに数字が大きいほど良い音で録音できます。（一般の音楽CDは44.1kHz、16ビット、ステレオです。）
KB/sで示されるのは1秒録音したときのファイルサイズです。例えば、172KB/sで10秒録音すると約1.7MBのファイルになります。

6 設定した音質に名前を付けます。［登録］ボタンをクリックしてください。

7 キーボードから名前を入力します。先頭の1文字目は半角の英数字にしてください。

8 ［OK］ボタンをクリックします。

9 オーディオのプロパティ画面に戻ったら、［録音］の［優先する音質］に新しい音質の名前が表示されていることを確認して、［OK］ボタンをクリックします。

3-4 PCカードを使う

Windows 95では、標準機能の範囲で主なPCカードを使用することができます。
ここではPCカードを使用する方法、取り外す方法について説明します。

Windows 95を再インストールした場合、カードを使用する前にコントロールパネルからPCMCIAウィザードを実行してください。PCMCIAウィザードについては、Windows 95のヘルプを参照してください。

■PCカードを使う

1 PCカードをWinBook Trimにセットします。

2 PCカードが検出されたという意味のメッセージが表示されます。

3 続いて、ドライバのインストールを促すメッセージが表示された場合、メッセージに従ってドライバをインストールします。
インストールが終了するとPCカードを使用できます。(次にこのPCカードを使うときはこの操作は不要です。)
ドライバのインストールを促すメッセージが表示されなかった場合、そのままPCカードを使用できます。

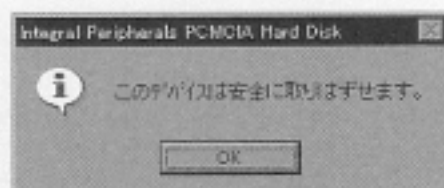
Windowsには、代表的なPCカードのドライバがあらかじめインストールされています。PCカードをWinBook Trimにセットすると WindowsはそのPCカードのドライバがインストールされているかどうかチェックし、インストールされていなかったときだけ、上記のメッセージを表示します。

■PCカードを取り外す

PCカードを取り外すときは、必ず以下の手順に従ってください。以下の手順に従わないと保存されているデータが壊れたり、ネットワーク関係のカードではネットワークで障害が発生したりすることがあります。

1 タスクバー右端の［PCカード］アイコン をクリックします。

2 アイコンの横に、どのPCカードを取り外すか（中止するか）一覧表示されるので取り外すPCカードをクリックします。

3 PCカードが取り外せる状態になると、メッセージが表示されます。本体からPCカードを取り外してください。

4 トラブルシューティング

4-1 トラブルを回避するために

コンピュータが突然使えなくなったり、突然印刷ができなくなったりなど、トラブルは不意にやってきます。しかし、トラブルは、あわてずに冷静に論理的に考えていくことで案外早く解決できます。

■まず落ち着いて環境を調査

1 問題がおきる前に何か設定を変えなかったか思い出してください。
新しいアプリケーションやドライバをインストールしてから、急に調子が悪くなったような場合は、まず、これらを削除して状況に変化がないか調べてください。

2 操作、データとの関連を調べてください。
例えば印刷がおかしい場合、いろいろなアプリケーションでできるだけ違った傾向のデータ（ワープロ文書とグラフィックなど）を印刷してみます。
これにより特定のアプリケーションの問題か、すべてのアプリケーションに共通の問題か、あるいは特定のデータでだけ起きる現象か、という情報が得られます。

3 問題の範囲を絞りこむ。
例えば、ワープロから文書を印刷できない場合、まず、ハードウェアに問題がないか（プリンタの故障など）を調べます。メモ帳など別のアプリケーションで印刷できれば、ハードウェアに問題はないことが確かめられます。
このような方法で、問題があるのはハードウェアか、ソフトウェアか、あるいは特定のアプリケーションか、といった切りわけができます。

■困ったときに

本機には、以下のようなドキュメントファイルがインストールされています。今、困っている問題の解決策がすぐに見つかる場合もありますので、これらの資料にまずあたってみてください。

1 ディスクトップ画面に表示される"始めにお読みください"
本書に記載していない最新の情報が記載されています。

2 Windowsのヘルプ
各種のトラブルシューティングが載っています。
・ディスクスペースの解放
・ハードウェアの競合
・ネットワークの使い方
・モデムの使い方
・PCカードの使い方等

3 READMEファイル
次のような各種READMEファイルがC:¥WINDOWSフォルダ内にあり、メモ帳などで読むことができます。

・CONFIG.TXT	CONFIG.SYSの書き方
・DISPLAY.TXT	表示ドライバ関連の注意事項
・FAQ.TXT	良く聞かれるQ&A集
・GENERAL.TXT	一般的な注意事項
・HARDWARE.TXT	ハードウェア関連の注意事項
・INTERNET.TXT	INTERNET や INTERNET EXPLORERの説明
・PRINTERS.TXT	印刷関連の注意事項
・PROGRAMS.TXT	各種アプリケーションの注意事項

4 各アプリケーションのマニュアル
アプリケーションに付属のマニュアルの中には、エラーメッセージ一覧等が載っているものもあります。

5 各アプリケーションのHELP、README.TXTファイル
アプリケーションごとのHELPやREADMEが各アプリケーションのフォルダ内にありますので、参考にしてください。

■いざというときのために

1 定期的にバックアップをとる
万一のディスク破壊などに備えて、重要なデータファイルはフロッピーディスクなどに定期的にバックアップしておくことをお勧めします。

2 Safe モードで起動する
Windowsが突然起動できなくなった場合は、本体装置の電源を入れた後、Starting Windows95と表示されているときに［F５］キーを押してください。（これはＳａｆｅモードでWindowsを起動する方法です。）
これで起動できた場合、すみやかに重要なデータファイル等をフロッピーディスクなどにバックアップしてください。次に、Windowsのヘルプ等でトラブルの原因を調べてください。

3 起動ディスクを使って起動する
Safeモードでも Windowsが起動しない場合、本書の「1-2 はじめて電源を入れる」で作成した「Windows95起動ディスク」を使用します。
「Windows95起動ディスク」を本体装置にセットして電源を入れると、コマンドプロンプトが使用できるOSが起動されるので、重要なデータのバックアップをとることができます。

4 再インストール
手順1～3を行ってもどうにもならない場合は、最後の手段として、Windowsを再インストールします。詳しくは、「5. 再インストール」を参照してください。

4-2 トラブルが起こってしまったら

■いろいろなハングの症状

ハング（ハングアップ）とはアプリケーションやシステムの不具合により、本機が使用できなくなることです。
一般にハングするとキーボードが使えなくなります。また、作成していたワープロソフトの文書などのファイルは失われます。多くの場合、ハングを解除するには本体装置をリセット（再起動）するしかありません。
ハングの代表的な症状をいくつか紹介します。

1 コマンドプロンプトが表示される
急に"C:¥>"のような画面に切り替わってしまう現象です。作成途中のファイルは失われます。

2 画面が真っ黒になる
画面が突然、真っ黒になる現象です。通常キーボードも使えません。

3 「EMM386 EXCEPTION」というメッセージが表示される
突然、以下の表示になりキーボードも使えなくなります。場合によっては、キーを何か押すと本体装置がリセット（再起動）を始めます。

```
EMM386 EXCEPTION #XX
```

（XXの数字は場合により06や0Dなど値が変わります。）

4 画面が青くなりメッセージが表示される
画面が突然青くなり、以下のメッセージが表示される現象です。

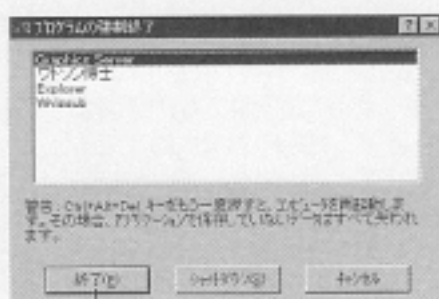
```
Windows
例外XXがYYYY:○○○○○○○○で発生しました。
現在のアプリケーションを終了します。

＊どれかキーを押すと、現在のアプリケーションを終了します。
＊Ctrl+Alt+Delキーをもう一度押すと、コンピュータを再起動します。
＊アプリケーションで保存していないデータはすべて失われます。

どれかキーを押すと、続行します。
```

4
トラブルシューティング

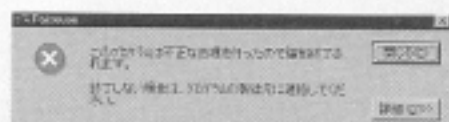
■ハングしたときの対処方法

1 [Alt] キーを押しながら [Ctrl] キーを押し、さらに [Delete] キーを押してください。
以下の画面が表示されたら、[終了] ボタンをクリックすることでアプリケーションが終了し、ハングから復帰できる場合があります。ただし、そのアプリケーションで作成中だったファイルは失われます。

2 [終了] ボタンが効かない場合は、[シャットダウン] ボタンをクリックしてWindowsを終了させてください。すべてのアプリケーションについて、作成中のファイルは失われます。

3 プログラムの強制終了画面が表示されなかったり、[終了] や [シャットダウン] ボタンが効かない場合は、もう一度 [Alt] キーを押しながら [Ctrl] キーを押し、さらに [Delete] キーを押してください。Windowsの再起動が始まります。この場合も、すべてのアプリケーションについて、作成中のファイルは失われます。

3の操作も行えないときは、「2-3 リセット」を参考にしてリセットを行ってください。

■アプリケーションエラーが起こったら

アプリケーション使用中に次のようなメッセージが表示されたら、アプリケーションエラーです。

1 この場合、［閉じる］ボタンをクリックして、エラーを起こしたアプリケーションを終了させてください。そのアプリケーションで作成中のファイルは失われます。

2 アプリケーションエラー発生後、同じアプリケーションを再起動すると、再びアプリケーションエラーとなることがあります。このような場合はWindowsを再起動してください。

5 再インストール

5-1　新規に Windows® 95 を再インストールする

5

なんらかのトラブルで、プリインストールされているソフトウェアが使用できなくなった場合、「1-3 システムディスクの作成」で作った、インストールディスク、及び、製品に添付されているCD-ROMを使用して再インストールを行います。

Windows95の再インストールは、製品に添付されているものを使用してください。
市販されているWindows95や、他製品に添付されているものは使用しないでください。

再インストールのための準備
以下のものを準備してください。
Microsoft Windows 95 CD-ROM（必ず本体添付のものを使用してください）
Certificate of Authenticity（Windows 95 ファーストステップガイドの表紙にはってある証紙）
システムディスク（1-3で作成したフロッピーディスク）
フロッピーディスク装置
外付けCD-ROM装置
SCSI PCカード（CD-ROM装置を接続するには、PCカード経由になります。）

再インストールに関する説明はディスクトップ画面に表示される"始めにお読みください"にも記載があります。
再インストールを行う前に必ずお読みください。
また、各システムディスクにもインストール時の注意事項について記載されています。こちらも必ずご覧ください。

プリインストールされているソフトウェアの種類は、予告なく変更されることがあります。

5-1　新規にWindows® 95を再インストールする

以降、現在のハードディスクの内容を完全に消去して、Windows® 95を再インストールする方法について説明します。

注意
ハードウェアセットアップでフロッピーディスク装置が使用できる状態になっていることを確認してください。また電源管理機能を「OFF」に設定してください。電源管理機能が「OFF」になっていないとCD-ROMからのファイルのコピーが遅くなります。

■サスペンド領域の設定

本機には、出荷時、メモリを最大容量搭載した場合に必要となる大きさのサスペンド領域が確保されています。サスペンド領域の大きさを変更する場合は、以下の手順にしたがって作業してください。大きさを変更せず、出荷時の状態のままでご使用になる場合には、**「ディスク領域（パーティション）の削除」**へ進んでください。

サスペンド領域の再設定方法として、
1 搭載メモリ容量に適した大きさに再設定する場合
2 サスペンド領域を完全に削除する場合
の2通りのパターンが考えられます。設定したい内容にあわせて、いずれかを選択し、作業を行ってください。

1 搭載メモリ容量に適した大きさに再設定する場合

①活用ガイドを参考にして、本体装置のメモリを変更します。
②Windows® 95のCDをCD-ROM装置にセットし、CD-ROM装置を本体に取り付け、電源を入れます。
　CDセットアップ起動ディスクをフロッピーディスク装置に挿入し、本体装置の電源を投入します。
③「Windows® 95をインストールしますか」と表示されたら、「N」を入力します。
④「phdisk /delete /partition」と入力し、「Enter」を押します。
⑤「Press any key to reset the system...」と表示されたら、何かキーを押すと、再起動します。フロッピーディスクはそのままにしておいてください。
⑥「Windows® 95をインストールしますか」と表示されたら、「N」を入力します。
⑦「phdisk /create /partition」と入力し、「Enter」を押します。
⑧「Press any key to reset the system...」と表示されたら、何かキーを押します。

2 サスペンド領域を完全に削除する場合

この操作を行うと、OS再インストール後、サスペンド機能が使用できなくなります。

①Windows® 95のCDをCD-ROM装置にセットし、CD-ROM装置を本体に取り付け、電源を入れます。またCDセットアップ起動ディスクをフロッピーディスク装置に挿入し、本体装置の電源を投入します。
②「Windows® 95をインストールしますか」と表示されたら、「N」を入力します。
③「phdisk /delete /partition」と入力し、「Enter」を押します。
④「Press any key to reset the system...」と表示されたら、リセットスイッチを押して電源を切ります。

■ディスク領域（パーティション）の削除

サスペンド領域の設定が完了したら、FDISKコマンドを使用して基本パーティションを削除します。任意のパーティション構成に設定する場合は、必要に応じて拡張パーティションを作成してください。

1 CDセットアップ起動ディスクをフロッピーディスク装置に挿入し、本体装置の電源を投入します。

2「Windows® 95をインストールしますか」と表示されたら、「N」を入力します。

3「fdisk」と入力し、「Enter」を押します。

4「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか（Y/N)」と表示されます。画面に表示されるメッセージをよくお読みください。ラージディスクの機能を使用する場合は「Y」を、使用しない場合は「N」を入力し、「ENTER」を押します。

5「3」を選択し、「領域または論理MS-DOSドライブを削除」を実行します。

6「1」を選択し、基本MS-DOS領域を削除します。

7「どの基本領域を削除しますか...？」に［1］を入力し［Enter］キーを押します。

8「ボリュームラベルを入力してください...？」と表示されます。「基本MS-DOS領域を削除」の画面に表示されているボリュームラベルを入力し［Enter］キーを押します。ボリュームラベルが画面に表示されていない場合は、ENTERのみを入力します。

9「よろしいですか（Y/N)」に対しては、「Y」を入力します。

10 ESCを何度か押した後、コマンドプロンプトに戻ったら、本体装置を再起動します。

■Windows® 95の再インストール

Windows® 95の再インストールの手順については、ディスクトップ画面に表示される“始めにお読みください”に記載されておりますので必ずお読みください。

索　引

重要なお知らせ

このソフトウェアご使用の手引に含まれる情報は、事前にお知らせすることなしに変更される場合があります。
本製品ならびにソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
本製品およびソフトウェアの仕様は予告なしに変更することがあります。

版権についてのお知らせ

本ソフトウェアご使用の手引のすべての内容は著作権によって保護されています。本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。
本ソフトウェアご使用の手引において説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。それ以外の場合は当該ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

資料名　モバイルコンピュータ
WinBook Trim
P2P133 ソフトウェアご使用の手引

資料番号　A9SR0022A <77A0>

1997年7月20日　第1版第1刷発行

発行所
株式会社ソーテック
神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1-1

R12-0M7O-7

WinBook **Trim**

ソフトウェアご使用の手引

SOTEC

A9SR0022A〈77A0〉